



KKR東海病院

とうかい

国家公務員共済組合連合会 東海病院
〒464-8512
名古屋市千種区千代田橋1-1-1
TEL 052-711-6131(代) FAX 052-712-0052
http://www.toukaihosp.jp/

第65号 2019.7
編集責任者 丸田真也(副院長)

東海病院憲章

東海病院は公共的な保健・医療・福祉サービスを行う施設であり、地域の人々の健康と福祉に資することを目的とする。

私たちのKoKoRo(心)構え

3つのS 誠意…Sincerity
奉仕…Service
考動…Science

東海病院職員は病院憲章の目的を達成するため、誠意・奉仕・考動の3つのSを大切に、地域医療機関との緊密な連携に努め、限りない人間愛と責任をもって、地域の人々に保健・医療・福祉サービスを提供します。

看護部長就任挨拶

令和時代到来、平成を振り返る

看護部長 岡 朋子 …………… 1

第14回市民公開講座より ①

乳がんについて

外科医長 青山 吉位 …………… 2

第14回市民公開講座より ②

いつまでも歩き続けるために

リハビリテーション科 石田 良一… 2

東海病院 部門紹介

～vol.9 地域連携室～ …………… 3

病診連携症例検討会より

6月の「病診連携システム勉強会」

副院長 地域連携室長 丸田 真也… 3

東海病院・名城病院共催

病診連携勉強会開催のお知らせ …… 4

診療と交通のご案内 …………… 4



東海病院
看護部長 岡 朋子

日頃は当院診療・看護にご協力いただき、感謝いたします。

4月より事務代行という形ではありますが看護部長職を拝命いたしました。まだまだ慣れぬ事ばかりで右往左往しております。連携医の先生方にはご迷惑をお掛けせぬよう、心して取り組んで参ります、どうぞよろしくお願いたします。

さて、令和時代の幕が開きました、今回は一看護師として平成を振り返らせて頂きました。私が東海病院に就職したのは平成2年のことでした。あの当時は自分含め職員みな若く、仕事に遊びにはつらつと活動しておりました。入院患者さんは入院期間が比較的長かったり、手の外科（整形外科）は若い方が多かったりと、毎日ほぼ満床でしたが、さほど苦慮することなく医療が提供できていたように思います。と、これが平成一ケタの頃の話です。

平成も十年代になりますと徐々に高齢化の波が押し寄せてまいります。当院も平成11・12年と訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設の開設が相次ぎました。入院患者さんも高齢者が多くなり、度重なる診療報酬改定により入院期間は短縮され、提供する医療は高度複雑化し、急速に病棟の雰囲気は一変します。更に個人の価値観も変化しQOLを重視するようになります。医療に対する目も厳しくなり、安全と質の向上を要求されるようになりました。そして平成二十年代に入る頃には、少子高齢化対策や、日本の医療制度の存続のために地域包括システムが打ち出されます。平成27年には地域医療構想が策定され、病床の機能分化が進められています。当院もこの年から病棟の再編成をし、今現在は地域包括ケア病棟46床を運用するようになりました。

この平成の30年間の変化の中、当院はうまく変化に付いて行けていたでしょうか。一職員であった私からは「no good」に見えました。特にここ数年は自分たちのやりたい医療と病院に求められる医療の間でもがいており、うまくシフトチェンジできていないと感じていました。病床稼働率は低下、建物は老朽化、職員は高齢化、いったいどうしたら…からの令和時代の到来です。病床の稼働率は昨年度後半あたりから様相が変わってまいりました。ようやく地域包括ケア病棟の運用が軌道に乗り始め、他病院からの転院、在宅からの直接緊急入院やレスパイト入院、一般病棟への転院もスムーズにできるようになってきました。建物は今ある物を補修し少しでも気持ちよく入院して頂けるように計画しています。職員は重ねた年を返上することはできませんが、その分あの頃と比べれば貴禄と落ち着きが備わったのではないのでしょうか。安心して医療を受けられる環境になるよう今後も精進してまいります。

私たち看護部職員は、まだまだ改善すべき課題が多くあります。皆様からのご指導・ご支援により、私たちも成長できます。今後ともよろしくお願いたします。

KKR とは？

国家公務員共済組合連合会の
頭文字をとった略称です。

第14回市民公開講座より ①

乳がんについて

東海病院 外科医長 青山 吉位



乳癌については、様々な情報があふれています。しかしながら乳癌も含め、健診業務が行われている癌の多くは早期発見、治療が原則となります。乳癌の治療については、ガイドラインが整備され、多くの施設でそれに準拠する形で治療等が行われているのが現状です。

健診で行われているのは、触診、マンモグラフィ検査、乳房エコーなどがあります。マンモグラフィでは、2方向（縦方向、横方向）での撮影を行ったうえで、特徴ある所見がないかどうかを判断するために読影を2名以上で行っています。また乳房エコーでは、乳房を断面で見る形で観察をおこなっています。更にマンモグラフィで疑わしい部位を観察して、場合によっては針での穿刺細胞診を行ったりしています。

こういった健診によって、乳癌の罹患率（発見）は年々増え、約11人に1人がかかると言われていきます。また多くの患者のデータから、生活習慣（食物、喫煙、アルコールなど）や妊娠出産歴、家族歴などが乳癌の発生率に影響することなどが分かっています。

早期発見であれば、治療を適切に行えば90%以上の人は安全に生活が可能です。自分で予防が可能なチャンスを逃さず、健診を受けて頂くことがお勧めです。

第14回市民公開講座より ②

いつまでも歩き続けるために

東海病院 リハビリテーション科 石田 良一



歩く力を保つためには運動を継続することが大切です。身体の状態を確認する方法の一つに「ロコチェック」があり、一つでも該当項目のある方は意識的に運動することをお勧めします。

運動は身体の状態に合わせた目標・負荷量を設定することが重要です。目標が漠然としていると運動が継続しにくいので、例えば「歩く力を保ちたい」を→「氷川きよしのコンサートに行きたい」などご自身にとって具体的な目標探しをすることが大切です。運動負荷量は高く設定しすぎるとケガや過度な疲労の原因になることがありますし、低すぎると運動効果が得られにくいです。

今回の講座では「かかと落とし体操」と「椅子スクワット（基本は肩幅より広めに足を開き浅めに座り、5秒かけてゆっくりと立ち上がり5秒かけてゆっくりと座る。応用は座りきらず数センチの高さで止めて再び立ち上がる）」をご紹介します。現状維持を目指すにも、運動時には日常の活動量よりも「やや高めの負荷」が必要です。それぞれ楽に出来るところから始め、慣れてきたら「ややつらい」と感じるころまで負荷を上げられると良いです。負荷量設定は、手で支える補助を次第に無くしたり、実施回数を徐々に増やしたりして変化させていきます。

運動方法は皆様が継続できると思われるもの、継続意識が働くもので良いと思います。是非、運動を継続させ「いつまでも歩くことのできる身体づくり」をして頂きたいと思います。

《 ロコチェック 》

1. 片脚立ちで靴下が履けない ✓
2. 家の中でつまずいたり、滑ったりする ✓
3. 階段を上がるのに手すりが必要である ✓
4. 掃除機の使用や布団の上げ下げが困難である ✓
5. 2kg程度の重い物をして持ち帰るのが困難である ✓
6. 15分くらい続けて歩くことができない ✓
7. 横断歩道を青信号で渡りきれない ✓

※ 日本整形外科学会公認コメディカルインストラクター 石田 良一

《 かかと落とし体操 》

かかとの 上げ下げを繰り返し行う

難易度 座位 → 立位 → 片足立位

《 椅子スクワット 》

お尻を数cm浮かせる

基本 ①座る → ②浮かせる → ③立つ → ② → ①
 応用 ①座る → ②浮かせる ⇄ 反復 ⇄ ③立つ

東海病院 部門紹介

～vol.9 地域連携室～

日頃より東海病院へのご愛顧を賜りありがとうございます。昨年4月より看護師が3名配置になり、また本年4月からは社会福祉士が3名体制になりました。事務員3名を含め丸田室長（副院長）のもと、他職種チームで日々業務を行っております。今後ともよろしくお願いたします。

地域連携室の役割について

地域の医療機関、介護施設や福祉施設、行政機関に関わる多種多様な施設をつなぎ、また患者さまのニーズに合わせた適切で質の高い医療やサービスの提供ができるようお手伝いをさせていただきます。

また、訪問診療や患者相談にも対応し、地域医療の一旦を担っています。

そういった病診連携や病病連携を充実させ、双方が機能・役割分担を担うことにより、よりよい医療を患者様に提供できると考えております。

当院は主に、名古屋市医師会及び歯科医師会のご協力のもと連携を行っております。

【病診連携登録医…387名（内 歯科29名）（2019.7.1現在）】

業務内容

<病診連携・病病連携>

他の医療機関から紹介を受けてお越しになる患者様に、診察や入院等スムーズな医療をお受けいただくための窓口となっております。地域の医療機関からご紹介のある患者様について、診察や検査等の事前予約、転院相談対応、セカンドオピニオン外来予約をお取りしたり、他の医療機関から様々なお問い合わせに対しての、連絡・調整、また症例検討会・勉強会の開催をおこなっております。

<入退院支援・医療相談>

入院及び通院の患者様が、適切でよりよい医療が受けられるよう支援をおこなうため、看護師や社会福祉士の資格を有する専門職員が、療養についての不安や相談を一緒に考え解決のお手伝いをさせていただいております。

<訪問診療>

主に当院を退院後の在宅療養のための訪問診療を行っております。

今後とも、よりよい連携強化に努めてまいりますのでよろしくお願いたします。



前列左より 門野(社会福祉士)・山田(事務員)・丸田室長・工藤師長
後列左より 高砂課長・三浦(社会福祉士)・廣田(看護師)・高梨(事務員)・長江(社会福祉士)・倉島(看護師)

病診連携症例検討会より

6月の「病診連携システム勉強会」

副院長 地域連携室長 丸田 真也



去る6月29日(土)の午後、梅雨の蒸し暑い中、当院健康管理センターの3階で病診連携システム勉強会を開催いたしました。今回は、当院から症例提示一題と、新たな試みとして院外講師による特別講演がありました。一題目は近藤内科医長から「直腸梅毒の1例」でした。梅毒は近年増加傾向にあり一般臨床でも念頭におく必要があるとのことでした。特別講演として総合大雄会病院感染症科部長、循環器内科医長の後藤礼司先生をお招きして「2型糖尿病治療におけるSGLT2阻害薬の有用性を循環器内科と感染症科両面の立場から考える」をご講演いただきました。SGLT2阻害薬は尿中に糖を排泄させて血糖を下げる新しい糖尿病治療薬です。尿路感染や性器感染の副作用は実際には少なく、心不全に対しては非常に有効であることを自験例も含めて解り易く解説いただきました。

当日は13名の病診連携登録医の先生方にご出席いただき、東海病院職員は22名が参加しました。次回は10月12日(土)に名城病院と共催の病診連携症例検討会と懇親会を予定しております。多くの方のご参加をお待ちしております。

東海病院・名城病院共催 病診連携勉強会開催のお知らせ

日 時：令和元年10月12日（土） 15時30分～17時30分
 場 所：KKRホテル名古屋（名古屋市中区三の丸1-5-1）
 演 題：特別講演、東海病院・名城病院医師から各1題症例発表あり
 後日お知らせいたします。
 単 位：日本医師会生涯教育認定講演会（参加証をお渡しします）
 取得単位：2単位
 担 当：名城病院

診療と交通のご案内

診療科

内 科

消化器	月～土	} 受付 8時30分～11時30分
循環器	月～土	
呼吸器	月・水	
肝 臓	月	
糖 尿 病	金	
禁煙外来	水・木	完全予約制

外 科

消化器	月～土	} 受付 8時30分～11時30分
ヘルニア外来	第1・3・5土	
血 管	金	受付 8時30分～11時00分
整形外科	月～土	受付 8時30分～11時00分
リウマチ科	月～土	受付 8時30分～11時00分
泌尿器科	月～土	受付 8時30分～11時30分
眼 科	月・水～金	受付 8時30分～11時30分
脳神経外科	火・木	受付 8時30分～11時30分
皮膚科	木	受付 13時00分～14時00分

土曜日は、第1・3・5のみ診療を行っております。
 土曜日の診療は、当番医となります。
 ※平成30年12月1日から診療科を変更いたしました。

休 診 日 第2・4土曜日

日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

所 在 地 〒464-8512 名古屋市中区千代田橋1-1-1
 電 話 TEL 052-711-6131 FAX 052-712-0052
 アドレス <http://www.toukaihosp.jp/>

交 通 地下鉄・名城線茶屋ヶ坂駅②番出口より約7分
 バ ス・基幹バス汁谷下車約1分
 名鉄瀬戸線・大曾根駅下車 地下鉄名城線乗換 茶屋ヶ坂駅下車
 ゆとりーとライン・砂田橋駅下車 地下鉄名城線乗換 茶屋ヶ坂駅下車
 ※一部送迎バスあり

